

皆さん、おはようございます。

本日は、総会への出席ご苦労様です。

弊社は5月1日をもちまして、通算で第34期目を迎えました。

まず初めに、日々の業務に対する皆さんの努力と献身に、心から感謝申し上げます。おかげさまで、当社は順調に成長を続けており、これはひとえに皆さんのおかげで、皆さんの尽力が、当社の成功を支えていることを改めて強調させていただきます。

さて、市場環境は依然として厳しい状況にありますが、皆さんの力強い働きのおかげで、当社は確かな成果を上げることができました。特に、内面的なこころざし、取り組む姿勢、具体的には新規取引の獲得において顕著な成果を挙げており、これにより会社全体の業績向上に寄与しています。

そして2月22日に社名変更し、5月1日より組織を運輸事業部、商社事業部、建設事業部の3事業部制とし相乗効果を期待し新体制で臨む運びとなりました。

これからも、私たちはお客様に最高のサービスを提供するために、一層努力を続けていかなければなりません。そのためには、皆さん一人ひとりの力が欠かせません。引き続き、社員一丸となって業務に取り組んでいただけるよう、お願いいたします。

改めてになりますが、2024年問題とは、少子高齢化や働き方改革、物流業界の人手不足などの影響で、日本の運送業界が直面する深刻な課題のことを指します。特に、2024年4月から適用された「働き方改革関連法」による残業時間の上限規制が、物流業界に大きな影響を及ぼすと予想されています。

この問題に対応するためには、次に示す指針方針を明確にし、それを皆さんに知って頂き、同じ温度で行動に移すことが重要です。

○顧客第一主義

顧客のニーズに迅速かつ的確に応えることを最優先に考え、信頼されるサービスを提供する。

○安全第一

全ての業務において安全を最優先し、従業員の健康と安全を確保するための取り組みを徹底する。

○環境保護

環境に配慮した運行と事業活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する。

○働き方改革

従業員が働きやすい環境を整備し、適正な労働時間管理を実施することで、ワークライフバランスを重視する。

○イノベーションと成長

新しい技術やアイデアを積極的に取り入れ、常に進化し続けることで、競争力を維持・強化する。

具体的な対策として

○自動化とデジタル化

業務の自動化やデジタル化を進めることで、効率を向上させる。例えば、AIを活用したシステムや新技術の導入など。

○人材育成と多様化

人材育成プログラムの充実や、多様な働き方を推奨することで、労働力の確保と定着を図る。

○収受価格の適正化

価格を適正に設定し、コストを適切に転嫁することで、持続可能な経営を実現する。

○パートナーシップ

他の物流会社や関連企業との協力を強化し、効率的な物流ネットワークを構築する。

2024年問題を乗り越えるためには、運送会社全体での協力と努力が必要です。また建設、製造、飲食の部門においても同様に業界全体の団結が必須です。

この指針方針を基に、具体的な施策を実行することで、持続可能な経営を目指します。

新年度に向けていくつかの新しいプロジェクトを計画しております。これらのプロジェクトは、当社の競争力をさらに高めるための重要なステップとなります。皆さんには、新しい挑戦にも果敢に取り組んでいただき、これまで以上の成果を上げていただけることを期待しております。

最後になりますが、皆さんの健康と安全を最優先に考え、働きやすい職場環境を整えていくことをお約束いたします。安全と体調管理に十分注意し、引き続き業務に邁進して頂けることを、お願い申し上げます。

令和6年5月18日 代表取締役社長 田原大輔

2024.05.18